

# FAST FACTS



Empowered lives.  
Resilient nations.

## 国連開発計画 (UNDP)

### UNDPとアフリカのガバナンス

過去20年間にわたり、アフリカではガバナンス確立の機会が大きく生まれました。これは国や地域の取組みによって民主主義が一般的慣行となったことによるものです。ガバナンス強化により、公共の問題に国民が関与する機会が生まれ、政府がよりきちんと説明責任を果たすようになり、マクロ経済の政策決定が改善されました。その結果、世界的な金融危機が起きるまでにはかつてないほどの経済成長を遂げました。

それでもなお、多くの課題が残っています。その一例が、2010年から2011年にかけてコートジボワールで発生した選挙後の危機です。同国では大統領選挙が4か月間の対立を生み、かつては西アフリカの政治・経済大国だったこの国に、暴動、強制退去、および広範囲に及ぶ物的損害をもたらしました。



依然として暴力紛争や権力乱用がはびこるアフリカにおいて、治安の維持と民主主義制度の強化、汚職との闘い、人権と法の支配の推進は、今後も重要な優先課題です。

### UNDPの活動

**1. UNDPは、政策決定への国民の関与を支援しています。**  
2011年、UNDPはアフリカ全域でおおむね平和的に実施された19の選挙を支援しました。文民統治への移行を終えたニジェールは、2011年3月に大統領選の決選投票を平和的に実施し、自由で公正な選挙として国際監視団から称賛されました。UNDP

### 主要事実

- 2010年から2011年にかけて、アフリカ諸国は過去最多の40回の選挙を行いました。
- 民主主義体制を敷くアフリカ諸国の数は現在、1960年代以降で最多となっています。
- 2011年は南スーダンの独立、ザンビアの平和的な権限移譲、ニジェールの文民統治への移行の成功などの前進がありました。
- 2012年には19か国で選挙が行われました。

では、ドナーコミュニティから4000万米ドルを調達し、6度の投票を執行する同国選挙委員会を資金面で支援したバスケットファンドを管理するとともに、非政府組織 (NGO) と協力のうえ、女性、遊牧民、障害者といった最も脆弱な人々の参加を促し、その啓発を行いました。

UNDPは、アフリカの女性たちがあらゆる統治機関において真の発言力を得て、男性と同様に意思決定に参加できるようにすべく尽力しています。ブルンジでは、女性国会議員の割合が2005年の23%から2010年には34%に上昇しました。またリベリアでは、地方議会議員に占める女性の割合が2004年の10.9%から2009年には18.9%に上がりました。ルワンダと南アフリカも、UNDPの支援を得て議員の男女枠を設けました。これら両国は、世界で女性議員比率の高い上位3か国のうちの2か国です。

憲法はグッド・ガバナンス (良い統治) 実現の鍵となります。2010年から2011年にかけて、UNDPはケニア、ジンバブエ、ザンビア、ウガンダ、モザンビークで憲法制定の取組みを支援しました。

2011年1月に実施された南スーダンの国民投票で、UNDPは国連統合住民投票・選挙部を通じて、5600万米ドルのドナー資金を管理し、3160個の登録キット、750万枚の投票用紙、8500個の投票ブースを調達し、商業トラック、ヘリコプター、空中投下により投票機材を届けました。またUNDPは有権者教育とメディア

訓練を支援し、有権者の登録期間中、62の地区に500人を超える国内選挙監視員を派遣しました。2010年8月にケニアで行われた歴史的な国民投票では、国民は圧倒的多数で、広範な改革の引き金となる新憲法に賛成票を投じました。UNDPは、投票を管理する独立選挙委員会をサポートし、20万人の選挙監視員の派遣を支援するとともに、草案に関する専門知識を提供し、市民教育活動を実施しました。またそれと並行して、2008年に起きた選挙後の暴動を繰り返さないために、全国的な紛争予防プログラムと早期警戒メカニズムの策定を支援しました。

政党は、強力な民主主義と健全な公開議論を促進し、政策策定や公共機関に多様な視点が反映されるようにするために必要なものです。例えばタンザニアでは、2010年の選挙期間中に政党を支援するプロジェクトが実施され、選挙プロセスに従事・参加するための政党の能力維持に貢献しました。このプロジェクトにより、5000人の党役員が、行動規範やメディア対応を含む選挙のプロセス、規則、手続きについて訓練を受けました。

**2. UNDPは、公共機関の機能強化を支援しています。** 国や地方の公共機関に対するUNDPの支援には、増え続ける有権者と選出された役職者との間のコミュニケーション手段を確立することが含まれます。コンゴ民主共和国でUNDPは、イギリス政府の支援を受けて、貧困削減やインフラといったいくつかの政策についての認識向上を狙いとした公開議論の開催を支援しました。2010年には、全国各地で23回にわたって開催されたフォーラムにおいて、5000人以上の市民が地方や国の議員たちと直接対話しました。

2010年にUNDPは、公共サービスの説明責任と効率性の向上を目指し、個人や企業による行政手続申請用紙の記入を支援するウェブサイト (<http://www.demarches.gouv.sn>) の開設で、セネガル政府を支援しました。このサイトでは、パスポートの更新から健康保険の申し込みまで、600以上の各種プロセスに関する質問とその答えを紹介しています。さらに関連する全ての書式、各プロセスに関わる法律の一覧表、基本的サービスの提供を担う400の公共機関の要覧も含まれます。

コンゴ民主共和国では、UNDPとベルギー政府の支援により、1つのウェブスペース (<http://pga.ministereduplan.cd/>) で政府開発援助を管理できるようになりました。このシステムでは、150億米ドル相当の人道・開発援助を追跡し、1999年から2010年までの間に実施された5700件の開発プロジェクトについての総合的な情報を提供しています。

最後に、eガバナンスは統治プロセスを加速する情報通信技術

(ICTs)への公共投資を伴います。eガバナンスはカーボヴェルデの行政改革政策の柱です。UNDPはスペイン政府から140万米ドルの資金供出を受けて、同国が選挙に関する国勢調査を行うための支援をし、生体認証技術を配備して600人の国勢調査担当者に新しいソフトウェアの使用法を教えました。このイニシアティブにより、2011年総選挙のための選挙人名簿が作成されました。

**3. UNDPは、ガバナンスの規範と原則の推進を支援しています。**

エチオピアでは、UNDPは連邦倫理・汚職防止委員会に長期的な助言をし、スタッフの訓練、汚職防止問題に関する上級職員の教育、汚職の悪影響に関する大規模な啓発運動の発足支援をしました。2011年末時点で、同委員会は2950件の報告を受け、371件の調査と362件の訴追を行い、違法な資金や土地を回収しました。

2011年9月から11月にかけて、ブルンジの検事総長は、国内11か所の刑務所の拘留状況を検証するために数十名の査察官を派遣しました。当時これらの刑務所には受刑者1万人が収容されており、定員を60%オーバーしていました。この査察の結果、2011年11月の時点で870人の受刑者が釈放されました。その一部は不法に拘留されていた人々でした。UNDPは、査察官が定められた基準に基づいて検事総長に報告することができるよう、刑務所の管理、人権、および刑法について彼らを訓練しました。

UNDPはアフリカ東部と南部だけで、エリトリア、エチオピア、ケニア、マラウイ、ナミビア、ルワンダ、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエなどの人権擁護団体11団体を支援しました。

**4. UNDPは、ガバナンスに関する知識と成功事例共有の促進を支援しています。**

UNDPと国連アフリカ経済委員会(UNECA)は、アフリカ諸国のグッド・ガバナンス(良い統治)実現に向けた進捗状況を評価・監視する年2回発行の出版物「アフリカン・ガバナンス・レポート」の第3版を作成中です。さらに両者は現在、アフリカ諸国の代表を集めて社会的・経済的・政治的發展のための能力育成の分野における主要な課題について話しあう年次イベント「アフリカ・ガバナンス・フォーラム」の第8回開催に向けて準備を進めています。

詳細については、[www.undp.org/africa](http://www.undp.org/africa)をご覧ください。